

平成 21 年度 神奈川県内の大学間における学術交流に関する受講可能な授業科目

麻布大学 獣医学研究科 動物応用科学専攻 博士前期課程

(履修申請受付期間：平成 21 年 4 月 10 日 (金) ～平成 21 年 4 月 17 日 (金))

授業科目	授業科目の内容	担当教員	区分	期	単位	曜日	時限	教室	人数	条件
動物人間関係学特論Ⅰ	地球上に出現したヒトの先祖が近縁の類人猿たちと袂を分かち、ヒトとしての道を歩きはじめて 400 万年、その間に他の動物種にはない「道具」を発達させて、地球上に文化(繁栄)を築き上げた。しかし、人類の最大の叡智は、動物の家畜化であろう。12,000 年以上前に、オオカミから家畜化されたイヌが人類にどれほど貢献してきたか！ネコ、ウマ、ウシ、ヒツジなど十数種の動物が人間とともに歴史を刻んできた。その動物と人間の歴史をさまざまな切り口から考え、21 世紀の動物と人の関係を展望してみる。	教授 太田光明	講義	前期	1	金	第 1 時限 (9:00～ 9:50)	8605	5	特になし
動物人間関係学特論Ⅱ	ヒトと動物の関係に関わるさまざまな事象を取り上げ、その時点における重要課題について講義、議論する。	教授 太田光明	講義	前期	1	金	第 2 時限 (10:00～ 10:50)	8605	5	特になし
動物介在療法特論	最近、人の生活の質 (Quality of life, QOL) を向上・充実させたり、障害をもつ人の機能回復に動物を用いることに関心が高まっている。動物の人に及ぼす影響を医学的に捉え、治療効果を期待する活動は欧米から始まり、「動物介在療法」(Animal-assisted therapy, AAT) と和訳されている。しかし、わが国での普及率は極めて低く、将来への展望もない。実際には、ほとんど同義語になっている Animal-assisted activity (AAA, 動物介在活動) がとり止めもなく行われていると言わざるを得ない。この分野の欧米の進みは速く、犬、猫、馬あるいはイルカ(ヨーロッパではマイナー)などを用いて、福祉に留まらず、教育あるいは社会から隔離された場所(刑務所)などさまざまな現場で行われている。さらに、「セラピスト」養成を目的にした高度な教育プログラムが進められ、欧米間に共通なライセンス (certificate) も発行されようとしている。 本学でも平成 14 年 4 月から、大学院をベースに、スイスを中心にオーストリア、ドイツで行われている AAA/AAT プログラムをそのまま導入し、国内のみならず欧米でも有効なライセンスの取得を目指す。講義では、ヨーロッパでの教育プログラムを主催している Dr. Dennis C. Turner (猫の行動学の世界的権威) を加え、わが国の AAA/AAT を考える。	教授 太田光明	講義	後期	1	水	第 3 時限 (11:00～ 11:50)	8605	5	特になし

保全生態学特論 I	野生動物の保全生態学の基礎となる動物生態学（個体群学、生息地との関係、群集生態学など）について講ずる。	教授 高槻成紀	講義	前期	1	木	第2時限 (10:00～ 10:50)	8605	5	特になし
保全生態学特論 II	野生動物の保全生態学の応用的な側面（研究と行政との関係、保全活動と生態学、異なる社会と野生動物の関係など）について講ずる。	教授 高槻成紀	講義	前期	1	木	第3時限 (11:00～ 11:50)	8605	5	特になし
動物社会認知学特論	動物の行動の背景となる社会認知機構を理解することを目的とする。	准教授 菊水健史	講義	前期	1	木	第4時限 (12:00～ 12:50)	8605	5	特になし
動物発達行動学特論	動物の行動の背景となる行動発達の神経機構を理解することを目的とする。	准教授 菊水健史	講義	後期	1	火	第2時限 (10:00～ 10:50)	8605	5	特になし
動物科学特論	幅広い分野における科学の最前線の現場と情報に接するために、獣医学研究科が主催する特別講義に出席し、所定のレポートを提出する。単位取得のためには、10回以上の出席とレポート提出を必要とする。	専攻主任	講義	通年	2	随 時	17:00～ 18:30	701 ・702	5	特になし